



平成23年10月20日(木)

## 東北大学調査・実習船「翠皓(すいこう)」について

水産技術総合センターの漁業調査指導船「拓洋丸」と「蒼洋」は東日本大震災で被災し、このうち主に沿岸を調査する「蒼洋」は水没し使用不能となりました。こうした中、水産業の復旧に向けて、東北大学大学院農学研究科から調査・実習船「翠皓(すいこう)」の提供の申し出があり、無償で貸し借りする契約を両者の間で締結しました。船の引き渡しは、10月17日(月)に石巻漁港で無事に行われました。東北大学の皆様の並々ならぬ御厚意に対し、深く感謝するとともに厚くお礼申し上げます。

「翠皓」という船名は、気象通報において使用している旗の色から命名され、「翠(すい)」は東を、「皓(こう)」は北を表し、すなわち「東北」を意味しています。

本船を使用して、震災後の漁場環境、海洋環境、魚類発生、漁場形成など、宮城県の沿岸部及び離島における津波の影響調査を予定しています。手始めとして、10月19日から気仙沼湾で海底ガレキ調査を開始しました。

漁業関係者の皆様には、引き続き県が実施する調査への御理解・御協力を賜りますようお願い申し上げます。

### 1 翠皓の概要

主要寸法：長さ16.5m、幅4.17m、深さ1.79m

総トン数：19トン

船質：軽合金(アルミ)

進水年：平成12年

最大搭載人員：船員5名、乗船者40名

航行区域：海岸から100海里以内(1海里1,852m)

主要装備：トロールウインチ、カラー魚探、ソナー、潮流計など

### 2 石巻漁港において

